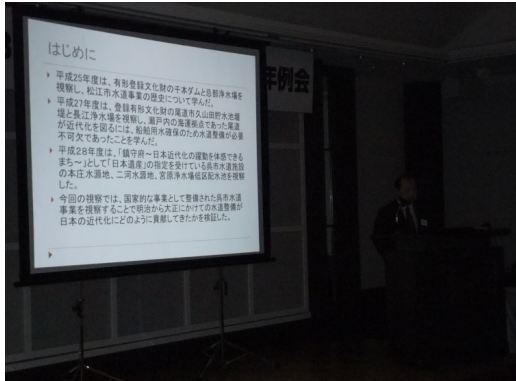


平成28年度 新年例会フォトレポート



平成29年1月14日(土)、松江エクセルホテル東急において、平成28年度島根県技術士会新年例会を開催しました。全会員322名のうち、93名の出席がありました。和田研究部会長による挨拶の後、研究部会の各専門分科会から1年間の活動報告と成果の発表がありました。



水資源・水環境分科会からは、篠田技術士により日本の近代化に貢献した国家事業である「呉市水道事業」の視察報告について、また島根の地域振興研究分科会からは、坂田技術士と嘉藤技術士により八雲風穴の現地調査結果と今後の活用についての提言がありました。



庭園文化研究分科会からは、宇野技術士により建築と庭との関係性や個人庭についての調査結果について、また今福線研究分科会からは、村上技術士と和田技術士により地域活性化に向けて活用され始めた今福線に対する活動状況について報告がありました。



生物多様性研究分科会からは、大嶋技術士により生物多様性の保全として「コウノトリ」を地域づくりに生かしている先進地豊岡市の視察結果について、また江の川橋梁群調査研究分科会からは、余村技術士によりカヌーで江の川橋梁をめぐる体験型交流イベントの開催結果について報告がありました。



防災部会からは、畑技術士と加藤技術士により県内で発生している微小地震の実態と地震断層の痕跡調査結果について、また個人研究として、井上技術士により原子力発電技術「トリウム熔融塩炉」の調査結果について吉田技術士により出雲神話と現地の景観及び航路に対する調査・考察結果について報告がありました。更に、渡部技術士から日本技術士会の動きについて情報提供がありました。最後は、林会長の挨拶で閉会しました。



懇親会には会員65名が出席し、歳男の河野技術士による乾杯で開宴しました。職場、職種、役職を超えて、相互の情報交換の場となり有意義な時間を過ごしました。